

# 「日本近現代史を哲学する！」

## 「マッカーサーの占領」から「喪失の世紀」現代まで

「戦後」とは何だったのか。占領時代から全共闘運動、バブル、福島原発崩壊まで、この国の歩みを読み解く。

講師 **八柏龍紀** (哲学者)

### ▼講座日程とテーマ

第一講 2013年2月7日(木)

マッカーサーの占領と「リンゴの唄」

——はたして憲法は空から降ってきたのか?——

課題：復興と再生の意味

第二講 2013年2月14日(木)

「東西冷戦」という戦時下、朝鮮戦争と講和条約——“12歳の少年”の日本、加害を忘れた日本の現実とは?——

課題：なぜ、日本人はアメリカが好きなのか?

第三講 2013年2月21日(木)

“日出ずる国ニッポン”の軌跡とは?

——神武・岩戸・いざなぎ景気の顛末、貨幣は人を支配する!——

課題：消費社会と人びとの孤独について考える!

第四講 2013年2月28日(木)

オキナワ、ベトナム、全共闘の時代

——「祭りの場」が消えていくとき——

課題：「世代論」は有効か?

第五講・終講 2013年3月7日(木)

“バブル”の崩壊から「原発」による崩壊まで

——「Globalism」との対峙、新たな「連帯」を求めて——

課題：生存の拠点をどこに置くか?

パートⅢ  
最終講座  
全5回

『週刊金曜日』主催の  
「歴史講座」パートⅢのご案内

# 本当の歴史を知りたい。

「歴史を哲学する」という視座から開講された『週刊金曜日』主催「歴史講座」のパートⅢを開講します。最後の講座となる今回は、「マッカーサーの占領」からインターネットに占領され、事物や人間の「交感」が喪失してしまった現代までを、全5講で講義・討議します。できるだけ「対話」のできる講座をめざし、歴史への新たな視点を切り開く講座にしたいと考えています。みなさんのご参加を、心よりお待ちしております。

時間：19時～21時

会場：貸会議室 内海(うつみ)

\*JR水道橋駅西口下車徒歩1分  
〒101-0061東京都千代田区三崎町3-6-15  
<http://www.kaigishitsu.co.jp>

受講料(資料代込み)

全5講座8000円(1回毎は2000円)

25歳未満は割引料金

(全5講座6000円、1回毎は1500円)

定員：80名(先着順)

お申し込みは『週刊金曜日業務部』に電話かファクスでお願いします。受講料は当日、申し受けます。

TEL 03-3221-8521

FAX 03-3221-8522



### ＜講師紹介＞

やがしわ たつり・哲学者。秋田県出身。慶應義塾大学法学部・文学部卒。秋田で県立高校の教員として8年を過ごした後、上京。歴史教師として予備校などで講義する一方、社会哲学や現代史に軸足を置いた執筆を展開。2000年からは、東京大学駒場キャンパスで自主講座を開講し、同年より学生のみならず社会人も対象とした社会哲学ゼミ(宏究学舎)、NPO新人会主催の自主ゼミなどを開講。2010年前期東京大学自由ゼミ非常勤。同年から『週刊金曜日』書評委員。現在、京都商工会議所主催【京都学】講師。

主著に『セピアの時代』(大和書房)、『戦後史を歩く』(情況出版)、『日本の歴史ニュースが面白いほどわかる本』(中経出版)、『「感動」禁止!』(ベスト新書)、『「戦後」状況論』共著(雲母書房)など。